

製品名: UFD1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02744

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.52mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

遺伝子名	UFD1
別名	UFD1L
遺伝子 ID	7353
SwissProt ID	Q92890
免疫原	ヒト UFD1L の合成ペプチド

背景

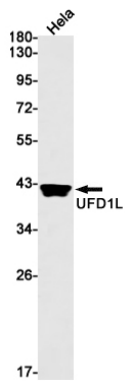
ユビキチン融合タンパク質を分解するユビキチン依存性タンパク質分解経路の必須成分。UFD1、VCP、および NPLOC4 を含む三元

複合体はユビキチン化されたタンパク質に結合し、ミスフォールドしたタンパク質を ER から細胞質へ輸送し、そこでプロテアソームによって分解するために必要である。NPLOC4-UFD1-VCP 複合体は、有糸分裂の終わりに紡錘体の分解を制御し、閉じた核膜の形成に必要である。これは、いくつかの外胚葉由来構造の発達に関与している可能性がある。VCP および NPLOC4 と形成される複合体を介して I 型インターフェロン産生の負の調節因子として作用し、DDX58/RIG-I に結合し、RNF125 をリクルートして DDX58/RIG-I のユビキチン化と分解を促進する (PubMed:26471729)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



UFD1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の UFD1L のウエスタン ブロット分析。